

破 碎 処 理 場



破碎処理場では、家庭から出る燃やせないごみ・大型ごみなどを衛生的、かつ安全・適正に破碎処理(40 トン/日)しています。

施設の特徴

ダンピングボックスにより、搬入されたごみに不適物や資源物が混入していないかを展開検査し、搬入者に対して分別排出とリサイクル推進の指導を行います。

燃やせないごみや大型ごみを破碎・選別し、アルミ類や鉄類を回収し、資源として再利用します。

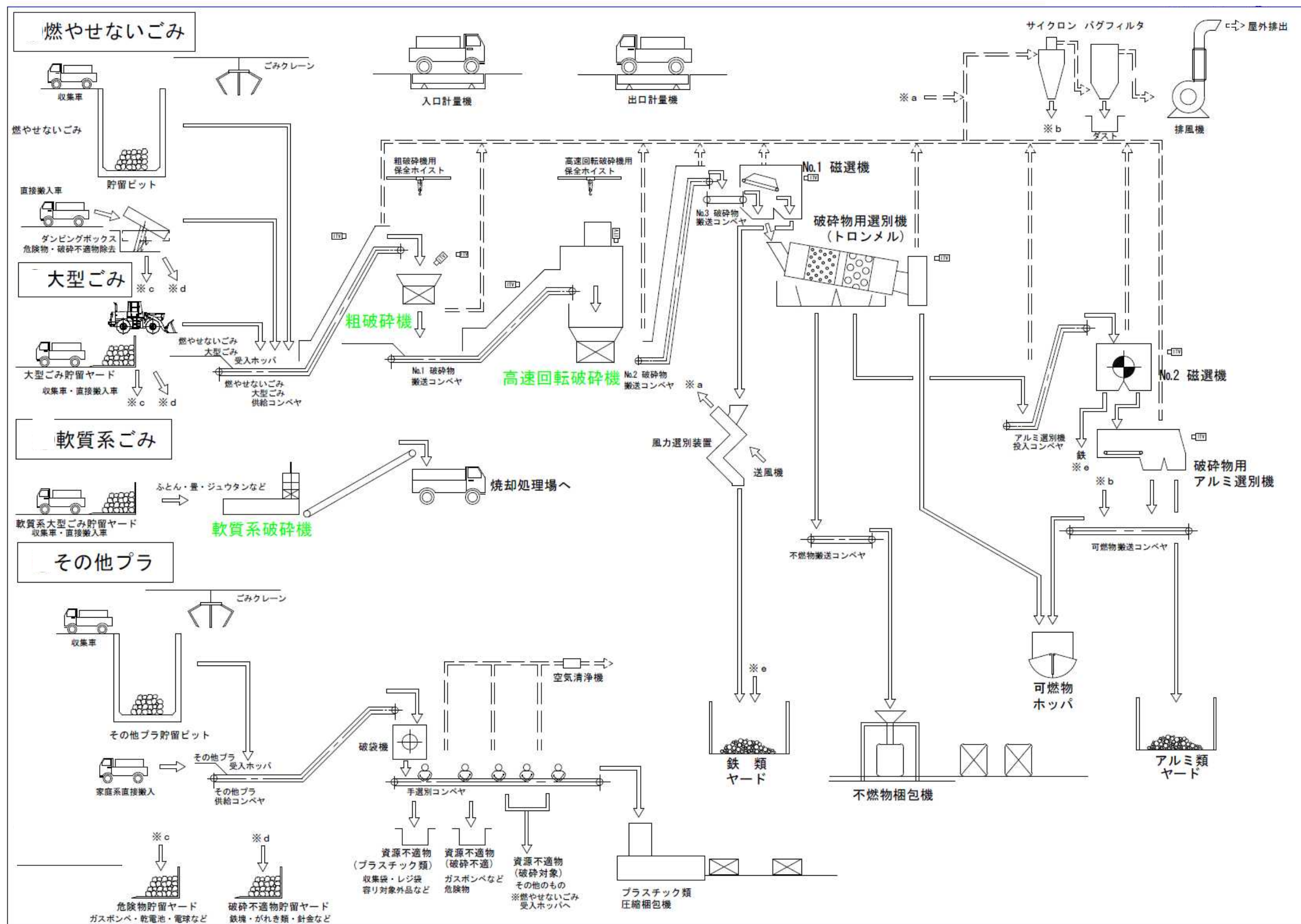
プラスチック製容器包装を選別・圧縮梱包してリサイクルします。

これまで直接埋立処理していた畳・布団・カーペットなどを破碎処理し、埋立処理場の負担軽減を図ります。

一次破碎を導入し、爆発等を未然に防ぎます。また、処理工程で発生する臭気や粉塵は、施設内の各種装置により、清浄化します。

太陽光発電設備や太陽光・風力発電式LED外灯を設置し、地球温暖化に配慮しています。

処理の流れ



燃やせないごみ・大型ごみ

燃やせないごみ・大型ごみなどを貯留ピットからクレーンで受入ホッパに移動します。その後、コンベアにより粗破砕機に送られます。



粗破砕機で、約 40cm の大きさに破砕処理し、コンベアにより高速回転破砕機に送られます。



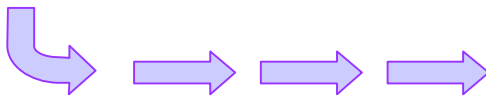
【二軸破砕方式】
回転数の異なる二軸の破砕刃により低速・高トルクでゆっくり破砕

高速回転破砕機で、不燃物は約 2 cm、アルミ類や木材などの可燃物は約 10 cm の大きさに破砕処理します。



【縦型リンググラインダ方式】
リング状のグラインダにより連続破砕処理

№1 磁力選別機で鉄類を吸着し、鉄類ヤードに貯留します。



破砕物用選別機（トロンメル）と呼ばれる回転ふるいにより、不燃物、アルミを含む可燃物、可燃物の3種類に選別します。

破砕物用選別機の1段目でふるい落ちる約2cmの不燃物は 不燃物梱包機でフレコンパックに入れて、そのまま埋立処理を行います。

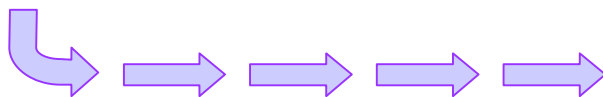
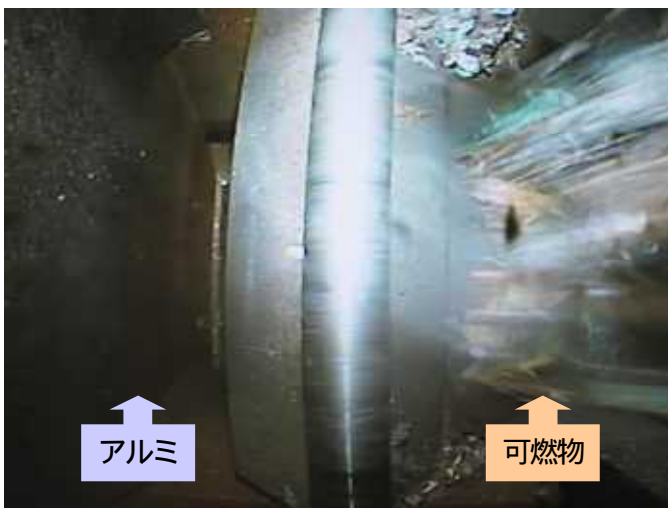


破砕物用選別機の2段目でふるい落ちる約10cmの破砕物は、№2磁力選別機で再び鉄類を回収し、鉄類ヤードに貯留します。

その他のものは、破砕物用アルミ選別機に送られます。



破砕物用アルミ選別機（電磁的に磁界を発生させて、アルミが通ると渦電流によりアルミを飛ばします。）によりアルミ類を回収し、アルミ類ヤードに貯留します。



残った可燃物は 可燃物ホッパに入り、その後焼却処理場に運搬されます。



プラスチック製容器包装

プラスチック製容器包装を貯留ピットからクレーンで受入ホッパに移動します。その後、コンベアにより破袋機に送られます。



破袋機により収集袋を破り、手選別コンベアに送られます。



手選別コンベアでは、人力により収集袋や汚れのある物、対象品以外の資源不適物などの不純物を除きます。その後、プラスチック類圧縮梱包機に送られます。



プラスチック類圧縮梱包機により、縦1 m×横1 m×高さ1 mに圧縮・成型し、日本容器包装リサイクル協会に出荷します。



成型品

軟質系ごみ

軟質系破碎機により、今まで直接埋め立て処理していた畳・布団やカーペットなどを、縦40 cm×横50 cmに破碎した後、焼却処理場に運搬し焼却処理します。



【縦型切断方式】

固定刃と上下する可動刃により圧縮せん断破碎



破碎後

